※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　美術科

科目	美術Ⅰ	単位数	2
使用教科書	「高校生の美術１」（日本文教出版）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	1	1
レポート	3 通	3 通
必要出席回数	4 回	4 回
テスト	×（レポート・スクーリングで取り組む実技課題に代える）	
課題・実習等	レポートやスクーリングで実技課題あり	

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 美術・デザインの基礎的な表現方法、鑑賞について学習します。
- スクーリング出席時には、教科書、レポート集、鉛筆またはシャープペンシル（ＨＢ以上の濃さ）、消しゴムに加えて、スクーリングごとに指定される用具、材料も自分で用意して来てください。準備のない場合、スクーリングを受けられないこともあります。
- スクーリングの出席やレポートの提出は見通しをもって計画しましょう。
- レポートやスクーリングでの実技課題には積極的に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

- レポート学習を通して、多様な造形的視点に気付き理解を深める。
- 実技を通して、造形的な見方・考え方を働かせ表現することの喜びを感じる。
- 生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

●学習指導要領(第１章第２款の５)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用することもある。

●学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法 知(a)	評価方法 思(b)	評価方法 主(c)
前期	絵画	鉛筆デッサン	a:教科書から出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。 b:実技課題において、材料・用具の正しい選択と課題意図に合った表現ができているか。創意工夫しているか。取り組みを振り返り、鉛筆による描画表現のよさや美さ、表現の意図、働きなどについて考え、作品の見方や感じ方を深めたりしているか。 c:振り返りコメントの内容。取り組みの計画性、丁寧さと完成度。	教科書から出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。	実技課題の取り組み。実技課題の内容・意図を理解し、意欲的に取り組んでいるか。	取り組み後の振り返りコメントの内容。見通しを持った学習計画がされているか。
	デザイン	レタリング	a:教科書から出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。 b:実技課題において、材料・用具の正しい選択と課題意図に合った表現ができているか。創意工夫しているか。取り組みを振り返り、字体による視覚効果の違いやその効果などについて考え、作品の見方や感じ方を深めたりしているか。 c:振り返りコメントの内容。取り組みの計画性、丁寧さと完成度。			
	デザイン	色　彩	a:教科書から出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。 b:実技課題において、材料・用具の正しい選択と課題意図に合った表現ができているか。創意工夫しているか。色彩を体系的に理解できることに気づき、その効果などについて考え、作品の見方や感じ方を深めたりしているか。 c:振り返りコメントの内容。取り組みの計画性、丁寧さと完成度。			
	鑑賞・美術史	鑑　賞	a:教科書から出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。 b:作品を鑑賞し、自分なりの見方で感じ、考え文章にできているか。取り組みを振り返り、美術作品や文化などに関心を持ち、そのよさや美しさを味わい理解を深めたりしているか。 c:振り返りコメントの内容。取り組みの計画性、丁寧さと完成度。			
後期	絵画	さまざまな表現技法	a:教科書から出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。 b:実技課題において、材料・用具の正しい選択と課題意図に合った表現ができているか。創意工夫しているか。取り組みを振り返り、水彩絵の具によるによる表現の多様性を知り、そのよさや美しさ、表現の意図、働きなどについて考え、作品の見方や感じ方を深めたりしているか。 c:振り返りコメントの内容。取り組みの計画性、丁寧さと完成度。			
	絵画・デザイン	作品制作	a:教科書から出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。 b:実技課題において、材料・用具の正しい選択と課題意図に合った表現ができているか。創意工夫しているか。制作を振り返り、多様な表現技法の特性を知り、表現の意図、働きなどについて考え、作品の見方や感じ方を深めたりしているか。 c:振り返りコメントの内容。取り組みの計画性、丁寧さと完成度。			
	鑑賞・美術史	鑑　賞	a:教科書から出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。 b:作品を鑑賞し、自分なりの見方で感じ、考え文章にできているか。取り組みを振り返り、美術作品や文化などに関心を持ち、そのよさや美しさを味わい理解を深めたりしているか。 c振り返りコメントの内容。取り組みの計画性、丁寧さと完成度。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度